

風疹ラテックス抗体検査報告書のHI法換算値の併記について

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当検査センターの風疹抗体検査はラテックス法ですが、本年3月に国立感染症研究所より、HI試験(風疹赤血球凝集抑制試験)への換算表が公表されています。当検査センター職員の風疹検査でも相関を確認しております(完全一致61.5%、1管差35.6%、2管差2.9%で一致率97.1%(1管差以内は許容範囲))。

このたび、報告書へ換算値の併記を始めることとしましたので、ご活用いただければ幸いです。

尚、ワクチン接種目安として利用する際、ラテックス方で28~29IU/mlの場合に『免疫なし』と判定されますが、HI法では、32倍で『免疫あり』となり、判定の不一致が生じる点ご了承下さい。

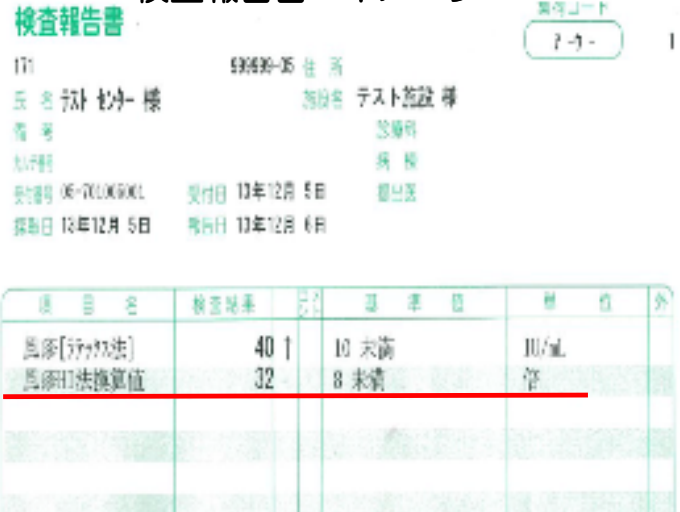
記

国立感染症研究所:HI抗体価との読み変えの為の資料 2013年3月

HI法	ランピアラテックス RUBELLA 国立感染症研究所 換算値 (IU/ml)
8倍未満	0~5
8倍	6~11
16倍	12~27
32倍	28~60
64倍	61~136
128倍	137~304
256倍	305~
512倍	

ラテックス法305 IU/ml以上のときはHI法256倍以上

検査報告書 イメージ



開始日 : 平成25年12月5日(木) 依頼受付分より

◆◆参考◆◆

風疹抗体価によるワクチン接種の目安

検査項目	検査方法	十分な免疫なし (ワクチン接種目安)	十分な免疫あり
風疹ウイルス	HI	32倍未満	32倍以上
	EIA	8.0未満	8.0以上
	ラテックス	30 IU/ml未満	30 IU/ml以上

出典 : 国立感染症研究所感染情報センター